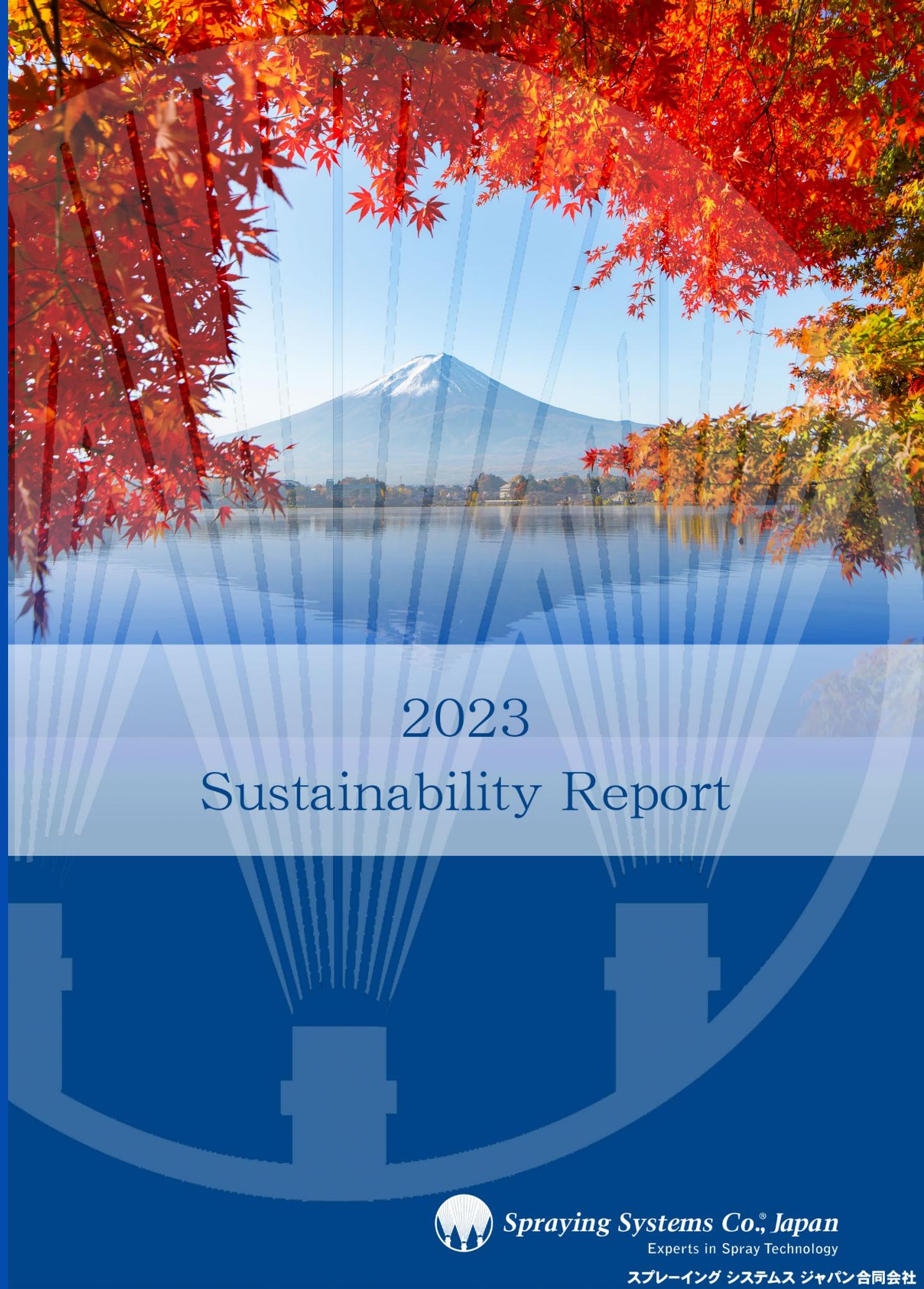


Spraying for the Future



2023 Sustainability Report



Spraying Systems Co., Japan
Experts in Spray Technology

スプレーイング システムズ ジャパン合同会社

www.spray.com/ja-jp/

本社：東京都品川区東五反田5-10-25 (齊征池田山ビル)
 東京営業所：東京都品川区東五反田5-10-25 (齊征池田山ビル)
 仙台営業所：宮城県仙台市太白区大野田5-19-9
 静岡営業所：静岡県富士市瓜島町130-2
 名古屋営業所：愛知県名古屋市中区若菜通1-32
 大阪営業所：大阪府東大阪市長田中1-3-8
 広島営業所：広島県広島市中区鞆町14-14 (広島教販ビル6F)
 九州営業所：福岡県福岡市博多区吉塚8-1-14 (PANリバーズVI)
 八日市場工場：千葉県匝瑺市みどり平2-4



Spray
Nozzles

〒141-0022 TEL 03 (3445) 6031 FAX 03 (3444) 5688
 〒141-0022 TEL 03 (3449) 6061 FAX 03 (3444) 5679
 〒982-0014 TEL 022 (746) 9830 FAX 022 (248) 4830
 〒417-0057 TEL 0545 (51) 5671 FAX 0545 (51) 5270
 〒462-0854 TEL 052 (910) 8281 FAX 052 (910) 8288
 〒577-0013 TEL 06 (6784) 2700 FAX 06 (6784) 8866
 〒730-0016 TEL 082 (511) 6560 FAX 082 (228) 1070
 〒812-0041 TEL 092 (627) 1715 FAX 092 (627) 1716
 〒289-2131 TEL 0479 (73) 3157 FAX 0479 (73) 6671



Spray
Control



Spray
Analysis



Spray
Fabrication

©Spraying Systems Co., Japan



Spraying Systems Co., Japan
Experts in Spray Technology

スプレーイング システムズ ジャパン合同会社

Spraying Systems Co., Japan Sustainability Report 2023

世界中のお客様とともに 脱炭素社会の実現と 持続可能な未来に向けて

Spraying Systemsは、1937年にアメリカでスプレーノズルの販売を開始以来、80年以上世界中のお客様のニーズにお応えし続けるとともに、お客様における環境負荷の低減、作業の効率化など、世界中が目標とする脱炭素社会の実現・持続可能な社会に向けたご提案と活動に取り組んでいます。

お客様のさまざまな課題に対し、当社の高品質スプレーノズルの供給と併せて、精密制御、科学的なスプレー分析、ご要求に合わせた特注ノズルの設計・製作による最適なスプレーノズル、システムの提案、スプレー作業の自動化に至るまで幅広くご要望にお応えし、お客様とともに持続可能な未来に向けて活動を進めています。

今後もお客様のご意見を真摯に受け止め、未来の社会に貢献するスプレーノズルの製品開発とサービスの提供に全力で取り組んでまいります。

報告内容と概略

本報告書は、2023年のSpraying Systems Co., Japanの持続可能な社会に向けた社会的責任と貢献の取り組みを報告しています。

- **対象期間**
2023年1月～12月の活動を中心に報告しています。
- **対象組織**
Spraying Systems Co., Japanを対象としています。
- **発行頻度**
2019年を初回報告とし、毎年発行を計画しています。
(諸事情により複数年構成で発行することもございます)
- **お問い合わせ先**
スプレーイングシステムスジャパン合同会社
グリーンチーム
TEL 03-3445-7809

※本レポートは当社ウェブサイトにも掲載しています。
<https://www.spray.com/ja-jp/company/sustainability>

INDEX

企業概要	4, 5
社会に貢献するSpraying Systems	6, 7
持続可能な社会にむけて	8
ステークホルダーとの関わり	9
SDGs（持続可能な開発目標）と当社の取り組み	10
価値創造プロセス	11
持続可能な社会に向けた製品の提供	12～13
環境負荷低減の取り組み	14～17
働く環境・地域社会への取り組み	18～19



Spraying for the Future



Spraying Systems Co. は、各産業のお客様のニーズにお応えし続け、現在ではスプレー製品を提供する世界でも有数のトップブランドに成長しました。

お客様のニーズに応じていくために、多角的な製品展開が必要となり、いくつものブランドを展開するまでに至っております。

Spraying Systems Co.は、全世界に100以上の営業ネットワークを構築しております。北米、南米、欧州そしてアジアの12の製造拠点から、世界中のあらゆる地域のお客様に、製品を素早くお届けいたします。

グローバルネットワークの強みと、長年培ってきたスプレーテクノロジーにより、お客様の生産性の向上、製品品質の改善、生産コストの削減、作業環境の改善に貢献致します。

農業用ノズル及び関連機器

農薬散布用を中心とした農業用ノズルから自動操舵システム等の精密機器まで。



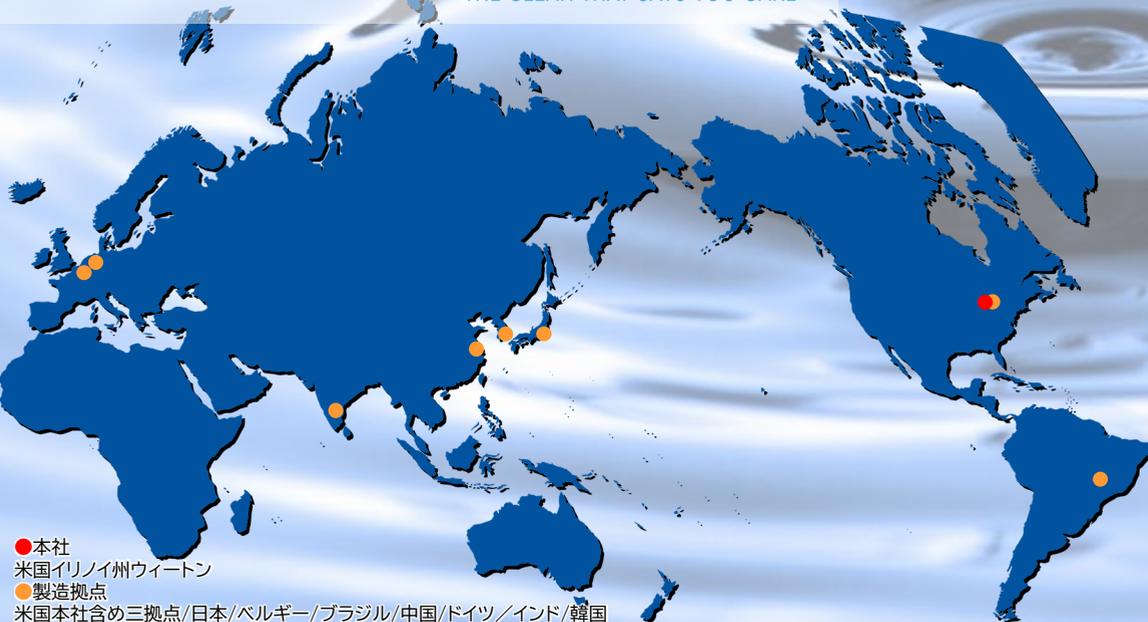
ノズルシステム/ユニット

洗浄装置、コーティング装置、加湿システムなどスプレーノズルを用いた各種装置やシステム。



電解水生成技術

独自の電解システムにより、除菌用酸性水と洗浄用アルカリ性水を生成。



スプレーイングシステムスジャパン合同会社

日本国内では、製造拠点と全国をフォローする7営業拠点のネットワークを組んでおり、お客様のご要望に迅速に対応いたします。セールスエンジニアがお客様の工場を訪問し、スプレー作業が効率良く行われているかをコンサルティングして、ノズルエンジニアと連携しながら、ノズルのメンテナンス、スプレーの最適化、スプレーの自動化をご提案致します。



会社のあゆみ

1963年	日本に代理店設立
1976年	スプレーイングシステムスジャパン株式会社設立 順次営業所を開設
1981年	スプレーイングシステムスファーイースト カンパニー日本支社設立
1982年	八日市場南工場新設
1985年	八日市場南工場増設
1990年	八日市場北工場新設
1996年	ISO9001認証取得
1997年	大阪社屋新設
1998年	静岡社屋新設 神奈川社屋新設
2001年	名古屋社屋新設
2002年	ISO14001認証取得
2016年	スプレーイングシステムスファーイーストカンパニー日本支社を統合 社号をスプレーイングシステムスジャパン合同会社に変更

飲料工場 エアーノズルにより除水



ボトルや紙パックなどに付着している水滴をエアーで除去。エアー源にブロー専用ノズルを使用することで**大幅な電気消費量の削減**効果を得ることができます。

田畑 エアーインノズルによるドリフト防止



農薬散布におけるドリフト(飛散)対策として、空気吸引型ノズルを使用。空気吸引で粒子を大きくし、飛散を抑制、**近隣田畑や住民への農薬飛散を抑えます。**

火力発電所 ミストによる吸気冷却



夏場にガスタービンに流入する吸気をミストで冷却することで、発電出力がアップし、**燃料の使用量を削減**できます。

製鉄工場 デスケーリングノズル



耐摩耗性に優れた独自設計のノズルが鋼材表面に付着したスケールを効率的に除去します。**壊蝕性能向上による節水効果**を見込むことができます。その他様々な工程でノズルが使用されています。

食品工場 加温スプレーシステムによるコーティング



粘性のあるチョコレートやシロップ、調味料を加温しながら均一スプレー。洋菓子、和菓子、パンなどの工程で用いられています。**適量スプレーにより液材を削減。**

廃棄物処理場 ノズルによる排ガス処理



効率のよい気化冷却を実現し、**ガス冷却・排ガス処理によって環境への負荷を軽減**します。ガス冷却、排ガス処理、NOx対策、SOx除去。

多くの産業でスプレー ノズルが活躍しています。

化学工場 ノズルによるタンク洗浄



貯蔵タンク、反応釜、攪拌槽などを専用ノズルで洗浄。汚れやタンク形状に最適なノズルを選択することで**節水や作業負担軽減**を実現できます。

印刷工場 ノズル式加湿器



印刷工場内の加湿により、紙の印刷適性向上や静電気による紙粉防止、紙の反りや丁合ムラ防止など多く効果をもたらします。**印刷不良削減と環境改善。**

ビルホテル 電解水による除菌清掃



水と塩を原料とした**環境に優しい電解水**は、洗浄や除菌に使用できます。薬品等による**アレルギーの心配もなく**、また生成装置を常備すれば**薬品容器等の破棄物も発生しません。**

物流倉庫 ミストによる暑熱対策



エアコンの冷房が困難な物流倉庫にミスト冷房を設置。作業者の暑熱対策として、**作業環境を改善。鎮塵効果**にも期待できます。エアコンよりも**大幅省エネ。**

製紙工場 ノズルによるトリミング



抄紙工程において紙端部を透明で乱れない極細直進流で、シャープにカットします。**原料を効率良く使用**することができます。その他多くの工程でノズルが使用されています。

液晶工場 スリットノズルによるコーティング



均一な液膜、エアー膜を生成するスリットノズルが液晶のガラス基板の洗浄、コーティング、液切りに使用されています。**均一化により歩留まり向上**を見込めます。

石炭搬送車 ミストによる鎮塵



石炭同士の衝突により発生する粉塵に粗目のミストを散布。湿気を持たせることで粉塵浮遊を抑制し、**近隣への浮遊と粉塵爆発のリスクを回避**します。

アミューズメント 噴水とミスト



噴水とミストの打ち水効果を併せて清涼感、水景、演出、遊び場を創出します。多彩なスプレーパターンの組み合わせが一品一様の空間を現出させます。

持続可能な社会に向けて

Top Commitment

Spraying Systems Co., Japanの原点といえるスプレーノズルは、それこそが『お客様の作業効率を改善し、コスト、時間を効率化する』製品そのものです。我々の事業を支える基盤技術と持続的に競争優位性を築くための核となるコア技術を磨き、それらを組み合わせることで、社会に新たな価値をもたらす製品・サービスを提供していきます。先進・独自の技術により高品質な製品・サービスを提供することで、様々な社会課題を解決することが、当社の事業成長の機会であると同時に当社としての社会の発展、環境保持、健康増進、人々の生活の質の向上に貢献する事につながると信じています。

Spraying Systems Co., JapanのCSR

Spraying Systems Co., Japanは、誠実かつ公正な事業活動を通じた企業価値向上の追及により、持続可能な社会の実現に貢献します。

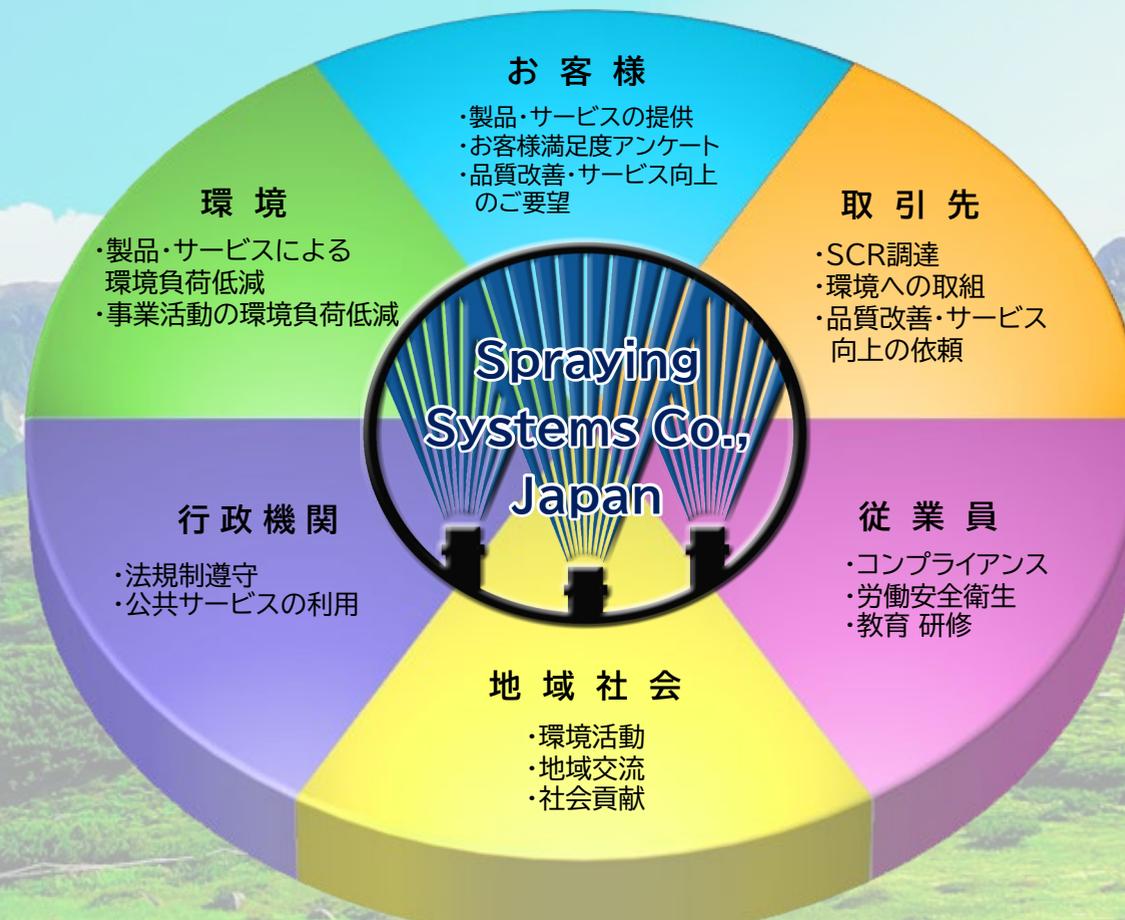
3つの推進指針

1. 製品、サービスの提供を通じ、社会の課題の解決に貢献します。
2. 事業プロセスが環境、社会に与える影響を考慮し、継続的な検証・改善を進めます。
3. 企業基盤となるCSRの強化を進めます。



ステークホルダーとの関わり

Spraying Systems Co., Japanは、様々な活動を通じてステークホルダーの皆様と関わり、頂いたご意見を事業活動へのフィードバックを繰り返すことにより、ステークホルダーの皆様とともに持続可能な社会の実現に向け取り組んでいます。



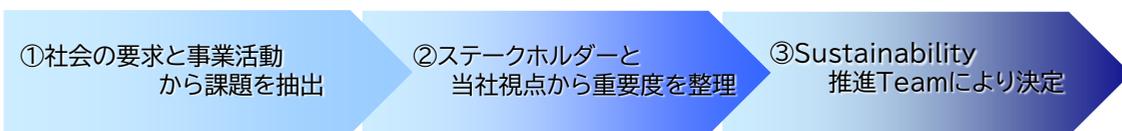
- **お客様**
満足度アンケートやホームページへの投稿並びに直接のご意見等を頂き、ご満足頂ける様、製品・サービスの改善等、企業活動の向上に努めています。
- **取引先**
協力企業様へ、当社の環境方針、持続可能な社会への活動をご理解頂き、公正な企業活動にご協力頂いております。
- **従業員**
従業員一人ひとりの成長が持続的かつ安定的な成長に繋がるものと考え、コンプライアンスの遵守、労働関連法規の遵守、労働安全・衛生への配慮、教育・研修を通じて、健全、且つ安全な職場づくりに努めています。
- **地域社会**
企業活動が地域社会の持続可能な発展に貢献する様、地域活動への取り組みや、社会貢献活動を実施しています。
- **行政機関**
持続的な事業の活動にあたり、法規制の遵守や、公共サービスの利用等において、行政機関と健全、且つ正常な関係を保ちます。
- **環境**
当社製品・サービスの提供により、お客様の環境負荷低減活動に貢献しています。また当社事業所活動における様々な環境活動、廃棄物の削減等に努めています。

SDGsと当社の取り組み

重要課題

当社は、持続可能な社会の実現に向けて、スプレーノズルの設計・製造・販売を通じた社会貢献を強力に推進するために、重要な項目をマテリアリティとして抽出、特定し、課題の解決に取り組んでいます。

経済・環境・社会の要素、及びSDGsの17の目標から、当社の活動において重要と思われる課題を抽出し、当社Sustainability 推進Teamにより、活動の重要度をまとめました。



当社の取り組みとSDGsとの関連

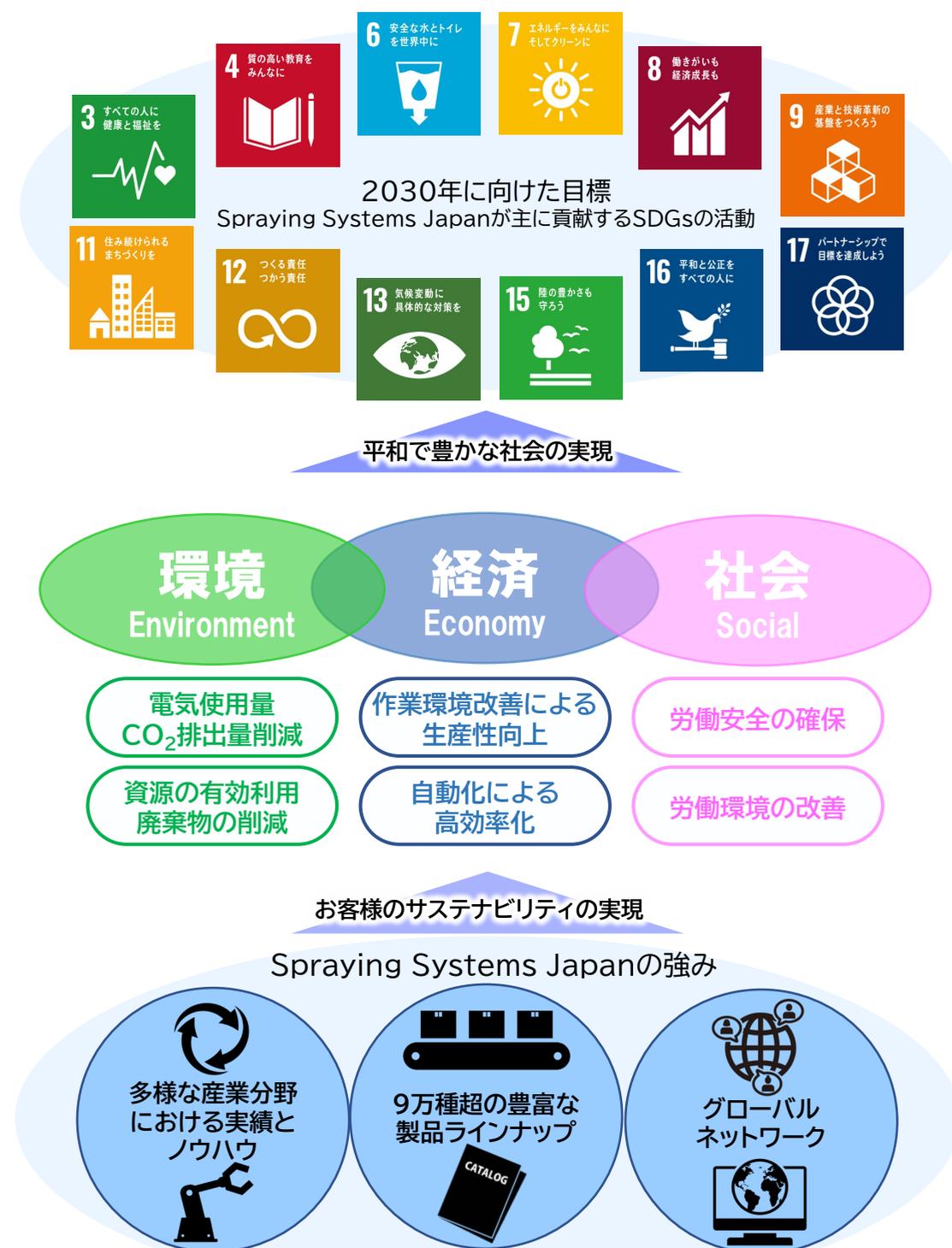
当社の活動項目	活動の内容	関連するSDGs	掲載ページ
当社製品による環境・社会・経済への貢献	お客様がご使用される水やエネルギー等資源の削減や、自動化による作業負担の低減に取り組んでいます。	6 安全な水とトイレを世界中に, 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 8 働きがいも経済成長も, 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	12-13
環境配慮設計の推進	省エネルギー、3R(リユース、リデュース、リサイクル)、環境負荷物質削減を考慮した環境配慮製品の開発を推進しています。	6 安全な水とトイレを世界中に, 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 11 住み続けられるまちづくりを, 12 つくる責任 つかう責任	14
廃棄物の削減活動	廃棄物を削減し、サーキュラーエコノミーの実現を推進しています。	12 つくる責任 つかう責任	15
サプライチェーン環境活動	当社とともに持続可能な活動を推進しています。	12 つくる責任 つかう責任, 17 パートナシップで目標を達成しよう	16
ペーパーワーク削減活動	紙使用削減による資源の有効利用と作業の自動化による働く環境の改善に取り組んでいます。	8 働きがいも経済成長も, 15 陸の豊かさも守ろう	17
事業所における電気消費量削減	事業活動における電気の消費削減を推進しています。	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに, 13 気候変動に具体的な対策を	17
地域社会への貢献	持続可能な発展に向けた地域社会への貢献活動を推進しています。	3 すべての人に健康と福祉を, 4 質の高い教育をみんなに, 11 住み続けられるまちづくりを	18-19
労働安全衛生への取り組み	安全・安心な働く環境の実現に取り組んでいます。	3 すべての人に健康と福祉を, 8 働きがいも経済成長も	19
法規制の遵守	法規制遵守による環境や社会における健全な企業活動を推進しています。	16 平和と公正をすべての人に	19

SDGs(Sustainability Development Goals:持続可能な開発目標)は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030のアジェンダ」に記載された2030年までの国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成されており、国や企業に対し活動要請されています。当社は事業活動を通じてSDGsの達成に向け貢献します。



価値創造プロセス

Spraying Systems Co., Japanは、スプレーノズルという小さな製品を通して、平和で豊かな社会の実現を目指します。
 当社の強みである「グローバルネットワークによる技術力」「豊富な製品ラインナップによる供給能力」「多様な産業分野における実績とノウハウ」を駆使した価値創造プロセスの継続により、さまざまな社会課題を解決し、社会と共に持続的な成長・発展を実現していきます。



持続可能な社会に向けた製品の提供

持続可能な社会の実現には、限りある資源の有効利用が重要です。Spraying Systems Co., Japanは、お客様の生産工程で使用される水やエネルギーを節約する製品とサービスをご提案することで、幅広い産業のお客様の省エネ対策、資源の節減対策に貢献してきました。今後もお客様の生産性向上を実現しながら、環境や資源に配慮した製品の開発、サービスの提供を推進致します。

展示会における周知活動

当社では、例年多くの展示会に出展し、多くの皆様に製品を手にとって、または実際に動いている状況をご覧いただいております。2023年は工場の脱炭素・カーボンニュートラルをテーマとした「グリーンファクトリー EXPO」にも出展。SDGsに貢献できる当社製品を多数展示いたしました。その他の展示会においても、省エネ効果の大きいエアブロー製品、省エネ型加湿器を積極的に周知しています。



Websiteにおける周知活動

弊社では、広く皆様にSustainabilityの取り組みを知って頂きたく、また弊社の活動をきっかけに新たなSustainabilityの活動が生まれるように、弊社Websiteで情報を公開しております。主にSDGs・省エネ成功事例の公開を通じて、お客様が自社の課題に気づき、同業種の事例を通じてSDGsのヒントを得られるよう、周知活動に注力しています。

会社概要
持続可能な社会に向けて
 スプレーイングシステムスは、グループ全体でサステナビリティの実現に向け取り組んでおり、日本におきましても環境負荷の低減を始め、さまざまな課題に対する取り組みを行っています。

スプレーノズルを活用した省エネ 成功事例

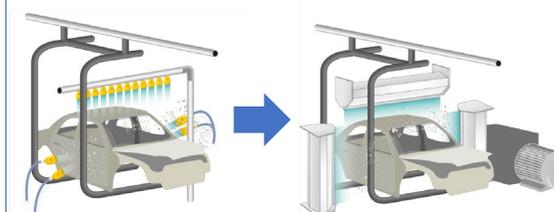
- 車庫メーカーが水切り工程をコンプレッサー式からブロー式に変更し、電気代を80%削減
- 飲料メーカーがボトルの水切り工程をコンプレッサー式からブロー式に変更し、電気代を70%削減
- 工場の暑熱対策にミスト冷房を採用し、エアコンの電気代を40万円/月 節約 ※USD=140JPYとして計算しています

持続可能な社会に向けた製品の提供

Case Study

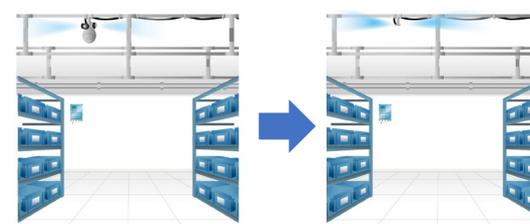
ブローノズルにより電力消費量・CO₂排出量を約90%削減

電着塗装後、乾燥炉前の水切り工程で省エネ検討をしている自動車車体工場でブローノズルを採用。コンプレッサー式からの切り替えで、電気使用量とCO₂排出量を大幅削減。カーボンニュートラルの取り組みに大きく貢献。



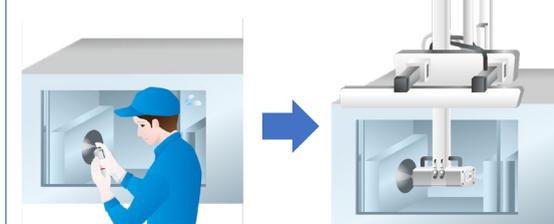
圧縮エア不要の一流体加湿を採用 エネルギーコストを大幅削減し省エネ

加湿器で消費する圧空コスト削減を検討している自動車用の樹脂パーツ工場で、圧空を使用しない一流体加湿を採用。圧空による電力消費を大幅に削減。噴霧音も小さくなり、作業環境の騒音問題も解決。



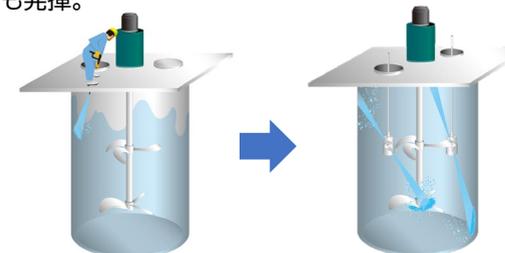
射出成型工程の離型剤塗布を自動化 作業員負担軽減 塗布ムラ・不良抑制

精密部品射出成型の工場で二流体スプレーノズルと制御装置一式を導入。スプレー缶による手作業からの自動化により、作業負担が軽減され、過剰スプレーや液垂れによる品質不良も削減。塗布効率向上で離型剤購入コストも抑制。



タンク洗浄自動化により高所危険作業を廃止 毎回100ℓ以上の節水を実現

人手によるタンク洗浄を行っていた食酢工場で高圧用液圧3次元回転式タンク洗浄ノズルを採用。高所からタンク内を覗き込み、高圧水を扱うという危険作業を回避。洗浄時間が短縮され、節水効果も発揮。



次亜塩素酸電解水で黒カビを抑制 洗浄コスト大幅削減 衛生環境改善

ビール原料のモルト製造室における黒カビ対策として電解水生成装置と自動スプレー装置を導入。酸性電解水とアルカリ性電解水の定期的自動散布により、黒カビの発生が抑制され、たんぱく質汚れの固着を減少。洗浄作業の頻度と作業量を大幅に削減。



環境負荷低減の取り組み



私たちの生活が豊かになる一方で、地球温暖化、資源の枯渇、森林破壊など、様々な環境課題が発生してきました。自然環境と生活環境が調和した持続可能な社会の実現に向けて、事業活動を通じて、環境負荷の低減や資源の有効活用等の環境課題に貢献できるよう取り組んでいます。

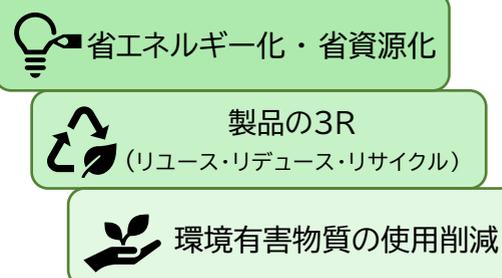
環境負荷低減の取り組み



事業活動により発生する廃棄物を新たな資源としてとらえ有効利用し廃棄物の削減に努めています。

環境配慮設計

グローバルな市場に対応した製品とサービスの提供と、これまで蓄積してきた技術力を生かし、多様なお客様のご要望にお応え出来る様、お客様の様々な問題を解決出来る製品の設計・開発に努めています。地球環境への配慮においても、設計段階のインプットとして組み込んでおり、ご使用における電力や水、その他流体の省エネルギー・省資源化、製品の3R(リユース・リデュース・リサイクル)の推進、環境影響有害物質の使用回避等の実現により、製品を通じた環境負荷低減に努めています。



●環境配慮設計の事例
省エネ型 一流体加湿器
ミストツイスターH360/ミストツイスターC

同ノズルの最大の特長は、コンプレッサーエアを使用しない点にあります。従来のノズル式の加湿方法であるエア噴霧式加湿器はコンプレッサーエアを用いるため、電気使用量が問題視されるケースも少なくありませんでした。そこで、弊社ではエアを使用しない一流体加湿器を開発。ランニングコストを軽減し、省エネ化、省コスト化、CO₂削減に貢献します。

その他、以下のような特長を有しています。
・微細なミストをファンで効率的に気化し、湿気流を強力噴射。
・ノズル1個あたり最大2.5L/hの高い加湿能力。
・給水作業が不要。
・H360タイプは最大12個のノズルを円周上に設置可能。広範囲の加湿に最適。
・Cタイプ(局所噴射型)は噴射方向の上下左右の調整が可能。ピンポイント加湿に最適。

製品構成については、3Rを主眼に使用する材料を出来るだけ少なくする為の省資源化=小型化をめざしており、可能な限りのコンパクトな製品形状を実現しています。開発段階においては、数値流体力学解析:CFD(Computational Fluid Dynamics)や3Dプリンタを多用し開発時の試作品製作と廃棄を繰り返す工程を可能な限り軽減しています。また、各部品は容易に分解可能な構造を有しており、廃棄の際の分別の容易さ、使用材料の再利用化も考慮しており、環境有害物質の使用削減にも貢献しています。



(例) 従来のコンプレッサー方式と同等の加湿能力を維持して 一流体加湿器に切り替えた場合の電気代比較

例: 広さ 300 m ² 天井高 4m の工場を加湿 工場は 1日 8時間稼働 電気代 ¥35/kwh		加湿度 30L/h を想定	電気代
Before エア噴霧式加湿 加湿器 3台設置、加湿量 30L/h	エア噴霧式加湿器		電気代約 192,500 円/年
After 一流体加湿 一流体加湿器 H360 1台設置、加湿量 30L/h	一流体加湿器		電気代約 19,500 円/年

※電気代の削減割合は部屋の広さ、換気量等、環境によって変動します

廃棄物の削減

リニアエコノミー(直線型社会)から
サーキュラーエコノミー(循環型社会)へ

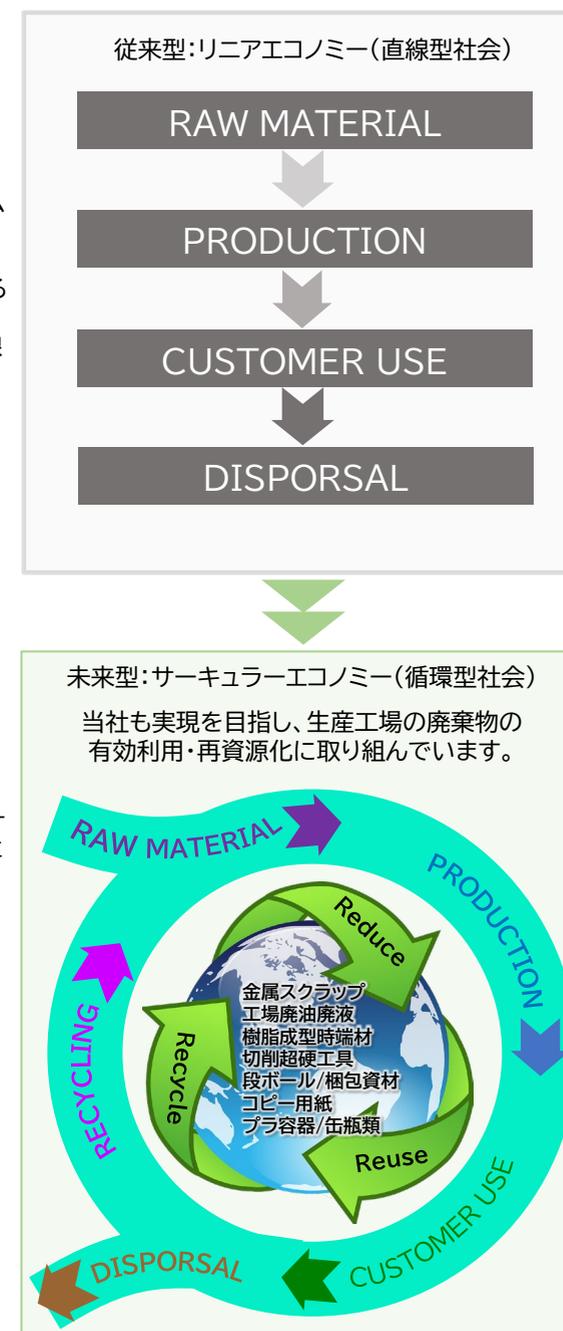
従来の大量生産・大量廃棄のニアエコノミー(直線型社会)、資源の採取(Raw material)・製造(Production)・消費(Customer use)・廃棄(Disporsal)という一方通行の生産・消費システムは持続可能な経済モデルではないことが明らかになっています。将来の地球人口の増加と経済活動の発展、環境問題が深刻化している状況を考慮すると、現在の資源を無限に使用し、廃棄物を大量に発生させる経済システムであるリニアエコノミー(直線型社会)を見直し、新たな資源の使用と、廃棄物の発生を最小化させるサーキュラーエコノミー(循環型社会)への転換が求められています。サーキュラーエコノミー(循環型社会)は、従来の3R(リユース・リデュース・リサイクル)に加え、廃棄物を新たな資源としてとらえ有効利用・再資源化させ、廃棄物が発生しないことを目指しています。

スプレーイングシステムスは、製品開発やサービスの提供を通じてサーキュラーエコノミー(循環型社会)の実現をめざし、再利用可能な材料の選定や製品の長寿命化を含めた環境に配慮した製品の設計に取り組んでいます。

工場の生産活動においても、稼働によって発生するこれまで廃棄物として処理していた排出物を、再利用や再生化等により、新たな資源として有効的な利用を推進することで、廃棄物の削減に取り組んでいます。

●再利用・再資源化

生産工場として排出されるこれらを、現在100%の再生化・再資源化に取り組んでいます。
・金属スクラップ
・廃油廃液
・樹脂成型品ランナー
・切削超硬工具
・コピー用紙
・ダンボール箱
・梱包資材
・プラ容器/缶ビン



環境負荷低減の取り組み



スプレーイングシステムスジャパンのビジネスパートナーであるサプライヤー様においても、持続可能な社会の実現にご協力頂いております。

サプライチェーン 環境活動

Spraying Systems Co., Japanは、多くの企業様のご協力のもと事業を進めており、お取引先企業様とは事前に合意した条件に基づき、適正に契約を締結し、健全且つ公正な取引を行っています。

当社の生産工場では、国際規格品質マネジメントシステムISO9001、環境マネジメントシステムISO14001を認証取得しており、品質と環境の両面においてステークホルダーの皆様との満足と企業価値向上を目指し日々活動しております。

お取引先企業様へ、当社品質方針、環境方針をご理解頂き、お互いの立場を尊重し事業が進められるよう、お取引先企業様の品質向上、環境負荷低減を通じ Sustainableサプライチェーンとして、持続可能な社会の実現にご協力頂いております。これまで、お取引先企業様に対し、毎年Sustainabilityアンケートを実施し、当社からの提案とお取引先企業様で改善を頂き活動しておりました。2023年から、より具体的な環境負荷低減の推進として活動しております。

●Sustainable サプライチェーン



Sustainable サプライチェーンの実現

●リターナブルボックスの使用推進

製品製作の工程において、当社で製作した部品を協力会社様に送り、追加工程をお願いすることがあります。これらはお客様満足度の向上を目的として、より付加価値の高い製品をご提供する為、当社では製作することが出来ない工程等を協力会社様にご対応頂いております。

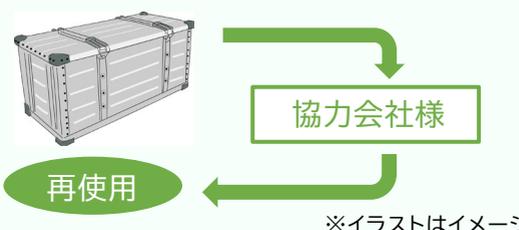
これまで協力会社様への製品発送において、ダンボール箱を使用しており、協力会社様における追加工程後に製品をご返送頂いた後、これらダンボール箱は廃棄しておりました。

現在、ダンボール箱の使用を見直し、廃棄せず継続して使用可能なリターナブルボックスの検討を進めています。これまで廃棄していたダンボール箱から、36種類の部品に対し、リターナブルボックスの使用を計画しております。これによりダンボール箱の廃棄削減と、当社及び協力会社様での梱包作業の負荷軽減、作業時間の短縮効果も見込まれております。

従来:ダンボール箱



現在:リターナブルボックス



※イラストはイメージ

環境負荷低減の取り組み



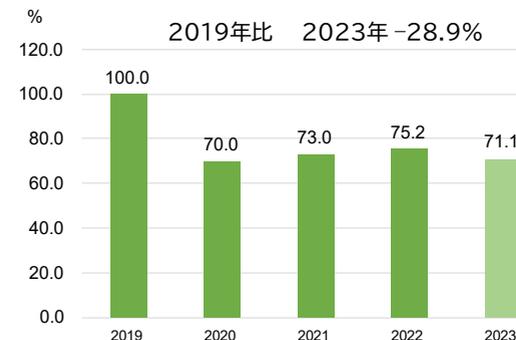
ペーパーワークの削減や紙資源の有効利用を通じて、森林環境保全と業務の作業軽減に取り組んでいます。また、環境負荷低減として生産工場での電気使用量の削減に取り組んでいます。

ペーパーワークの削減

企業活動における業務で発生する様々なペーパーワークを見直し、森林環境負荷の低減と、業務の効率化推進として、マニュアルオペレーションの自動化、ペーパーレス化に取り組んでいます。

本社、各営業拠点、生産工場において推進しており、紙使用削減の活動と同時に消費量推移を注視しております。2023年の紙使用量は2019年比で-28.9%の結果でした。

●紙使用量の推移



●ペーパーレス化プロジェクト



電気使用量の削減

スプレーノズルの生産工場において、工場内の照明、空調設備、生産設備、オフィス機器等を対象に電気の使用量削減に取り組んでいます。

2011年に発生した東日本大震災以降、電力供給不足に対応する為、電力使用軽減としてデマンドコントロールを導入しています。

2020年には工場内の全ての照明設備をLED照明に更新致しました。冬季には空調暖房設備の過剰使用を抑えるWARM BIZの推進として、新たに防寒着を採用しました。その他節電の社内啓蒙等を実施しています。

現在電気使用量は維持管理として消費量推移を注視しており、2023年の電気使用量は2019年比で-15.3%の結果でした。

●電気使用量の推移



●節電設備への更新、社内啓蒙



働く環境・地域社会への取り組み



技術革新とグローバル化で企業競争が激化するなか、企業が未来に向け持続的に成長していくために、業務の効率化とともに、地域社会への貢献、安全衛生を配慮し働く環境や、法令順守に取り組んでいます。

働く環境・地域社会への取り組み



地域に根ざした社会貢献を通じて、地域社会に必要とされる企業を目指し、様々な貢献活動に取り組んでいます。

ゼロエミッション公園イベントに参加

江戸川区東部交通公園
リニューアルイベント10月

「カーボン・マイナス都市宣言」を表明した江戸川区の取り組みの一つとして、「温室効果ガスの排出量実質ゼロ」と「災害対策機能」を兼ね備えたモデル公園「ゼロ・エミッション・パーク」としてリニューアルをした東部交通公園のオープンイベントに協力参加致しました。

地球温暖化対策としてのミストを知って頂くためにミストノズルとミストファンのデモンストレーションを行いました。季節外れの残暑の中、お子様からお年寄りまで、ミストに触れて頂くことができ、お子様にはミストの楽しさを、大人にはミストを涼しさを体感して頂き、笑顔溢れるイベントとなりました。



労働安全衛生

働く環境の安全衛生向上の為、当社生産工場に安全衛生委員会を設置し、月例会議により、業務上の事故の防止、安全パトロールの実施、消防訓練、避難訓練、傷病の予防、従業員の心とからだの健康維持のための健康診断やストレスチェックなど、様々な取り組みを行っています。消防訓練では、従業員自営消防団による自社消火設備を使用した消火訓練、及び新入社員による消火栓使用教育を兼ねた消防訓練等を実施しています。長年にわたる働く環境の改善や労働安全への取り組みが評価され、2016年には労働基準協会より優良事業場表彰を、2017年には労働局より奨励賞を贈呈されました。

消防訓練を毎年実施



地域に根ざした社会貢献

スプレーイングシステムスジャパンの生産工場において、地域に信頼られ必要とされる企業を目指し、様々な社会貢献活動に取り組んでいます。しかし、2020年から2022年は新型コロナウイルスの影響もあり、様々な活動が自粛により中止されました。2023年から、徐々に従来の活動がなされる環境が整い、実施された社会貢献活動をご紹介します。

- ゴミゼロクリーン活動：5月
生産工場管轄工業団地において、他企業様約30社とともに、環境保全活動と美化向上のため、ゴミゼロクリーン活動を実施しています。(2020年から2023年 中止)
- 中学生の企業体験学習：8月、9月、10月
地域への教育貢献の一環として、中学校から企業で働くことの体験学習教育を受入れています。スプレーノズルの生産業務を通じ、働くことや社会貢献について、企業の教育支援を実施しています。2023年は近隣の3つの中学校からのご依頼を受け、体験学習教育を実施致しました。

- 日本赤十字社への献血協力：3月、11月
生産工場のロビーを会場として開放提供し、年間2回の日本赤十字社献血に協力しています。当資料「献血協力がドナー通信に掲載されました」をご参照下さい。

献血協力がドナー通信に掲載されました

日本赤十字社への献血協力：3月、11月
生産工場のロビーを会場として開放提供し、年間2回の日本赤十字社献血に協力しています。この献血協力は毎年実施しており、当社従業員だけでなく、周辺企業様からも献血にご協力頂き輸血量不足に貢献しています。

長年の献血協力や会場の提供、寄付等の協力功績が認められ2017年に日本赤十字社より感謝状が贈呈され、2021年には厚生労働大臣より感謝状が贈呈されました。

また、同2021年、ドナー通信No104の献血協力企業の紹介「けんけつちゃんが行く」にて、当社の活動を紹介頂きました。

ドナー通信 No.104
編集発行：千葉県赤十字血液センター 厚生労働大臣から頂いた感謝状



法令順守 教育と研修

国際規格ISO9001, 14001の認証取得において、企業活動における様々な法規制を遵守し健全且つ公正な企業運営に取り組む、品質・環境の視点から法規制の遵守に努めています。また、品質・環境マネジメントシステムの運用を通じ従業員の教育や研修の実施、継続的な改善に取り組んでいます。

お客様に安心してご使用頂ける品質製品とサービスの提供を目指し、生産工場において、ISO9001 品質マネジメントシステムを1996年の認証取得以来、2017年から2015年度版により運用(2023年更新審査完了)しています。

環境については、ISO14001 環境マネジメントシステムを2002年に認証取得以来、企業活動における環境負荷低減等の予防的アプローチ、環境配慮製品やサービスの提供による社会への積極的アプローチを通じて環境影響の低減に取り組んでいます。2017年からは2015年度版により運用(2023年更新審査完了)しています。

これら品質・環境マネジメントシステムの認証取得と運用により、法令順守、教育と研修、環境に対する予防的活動を含め、持続可能な社会の実現に向けた企業の発展的活動、社会に必要とされる企業を目指し活動しています。